

授業科目名称 : 病院薬学 (実践的教育科目)

授業コード : 12619

授業科目英文名称 : Hospital Pharmacy

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	1.5	必修
担当教員			
室 高広、神田 紘介、末廣 真理恵 (実務経験のある教員)			
展開方法	講義		
ナンバリング	N4F331		
添付ファイル			
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標		評価手段・方法 評価比率
専門力	薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応することができる。		・定期試験 ・小テスト 30% 15%
情報収集、分析力	医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる。		・定期試験 15%
コミュニケーション力	薬の専門家として十分なコミュニケーション能力を修得する。		・定期試験 15%
協働・課題解決力	個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる。		・定期試験 15%
多様性理解力	地域医療・保健に参画することができる。		・定期試験 10%
出席		受験要件	
合計		100%	

授業のねらい	<p>本学薬学部薬学科のディプロマポリシーである、薬の専門家として高度化・複雑化する社会の医療ニーズに対応するために必要な知識、医療や薬学に関する諸問題について、有用な科学的データを選択し、自ら論理的に思考・判断できる技能、薬の専門家として十分なコミュニケーション能力、個々の患者や医師・看護師等に薬の情報を的確に提供することができる能力、地域医療・保健に参画することができる能力を備えることを目標とする。特に、この科目では、卒業後に臨床において医療チームの一員として参画できるための知識、技能、態度を身につける。</p>					
アクティブラーニングの類型	① ④					
評価基準及び評価手段・方法の補足説明	<p>講義、配布資料、パワーポイント等の内容から定期試験成績 (70%)、小テスト (30%) を基に長崎国際大学の成績評価基準に準拠して厳正に判定する。小テストについては、授業内およびポートフォリオを利用してフィードバックする。</p>					
授業概要	<p>病院・薬局の勤務経験がある教員が、実務経験で得られた知見や事例等を取り入れ、課題解決型学習を展開する。基本的には教科書およびプリント等の資料配布、パワーポイントを利用し、資料を事前配布する。授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、112.5分です。</p>					
教科書・参考書・指定図書	<p>教科書：実務実習事前学習テキストブック (京都廣川書店) 参考書：グラフィックガイド薬剤師の技能 第2版 ー理論まると実践へー (京都廣川書店) スタンダード薬学シリーズⅡ7 臨床薬学 (東京化学同人) 指定図書：スタンダード薬学シリーズⅡ7 臨床薬学 (東京化学同人)</p>					
授業外における学修及び学生に期待すること	<p>卒業後に、病院薬学で修得した知識・技能を応用し、医療現場において医療チームの一員として活躍できる薬剤師になって欲しい。 配布されたプリント及び参考書等を利用して予習・復習をしっかりとるようにして下さい。講義中および講義後の質問は大いに歓迎します。 ※質問は、基本的に在室中は可能ですので、担当教員のオフィス (薬学研究棟P302 : 室、P312 : 神田、S302 : 末廣) を訪ねて下さい。</p>					
授業計画	回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号	担当教員
	1	病院薬剤師の社会における役割	病院薬剤師の社会における役割について理解する。	病院薬剤師の社会における役割に関する予習課題を提示する・配布資料の確認	9, 10, 12, 489, 731, 732, 895, 1049, 1052	神田
	2	病院薬剤師に必要とされる知識、技能	中毒や長期療養に付随する合併症、個別の患者情報 (遺伝的素因、年齢的要因、臓器機能など) の取得法、医薬品情報を利用した薬学的管理について理解する。	病院薬剤師に必要とされる知識、技能に関する予習課題を提示する・配布資料の確認	756, 757, 814, 988, 989, 1050	神田
	3	治験の意義と治験関連業務	治験の意義や関連する倫理規範、病院薬剤師の治験関連業務への関わりについて理解する。	治験の意義と治験関連業務に関する予習課題を提示する・配布資料の確認	31, 35, 38, 39, 897	神田

4	各種専門薬剤師とチーム医療	病院薬剤師に特徴的な業務。各種専門薬剤師制度、専門薬剤師の役割とチーム医療の実践。	専門薬剤師について調べておく・教科書・配布資料の確認	52, 53, 897, 898, 905, 906, 1026, 1027	室
5	病棟薬剤業務と薬剤管理指導 (1)	実際の病院薬剤師の業務について。	病院薬剤師の業務について調べておく・教科書・配布資料の確認	895-897, 900	末廣、外部講師
6	病棟薬剤業務と薬剤管理指導 (2)	病棟専任薬剤師、薬剤師業務と保険評価、患者情報源の種類、患者情報の収集方法、問題志向型システムについて。	患者情報の収集方法や収集すべき内容について考えておく・教科書・配布資料の確認	797-800, 907, 945, 946, 948, 950, 953, 954, 958, 987, 991	末廣
7	病棟薬剤業務と薬剤管理指導 (3)	インタビューからの情報収集。患者の効果・副作用情報の評価と対処法。チーム医療における患者情報の共有。SOAP形式での患者記録作成演習【基礎編】。	チーム医療での患者情報共有方法について考えておく・教科書・配布資料の確認	801, 901-907, 955, 956, 1015	末廣
8	病棟薬剤業務と薬剤管理指導 (4)	患者情報の取扱い(守秘義務等)。薬剤管理指導の留意点。患者に合わせた調剤や用法の工夫。SOAP形式での患者記録作成演習【応用編】。	守秘義務について調べておく・教科書・配布資料の確認	802, 990, 1010	末廣
9	病棟薬剤業務と薬剤管理指導 (5)	医療従事者・患者への情報提供。インフォームドコンセントの定義と必要性。コミュニケーションの方法。	インフォームドコンセントについて調べておく・教科書・配布資料の確認	36, 37, 42, 47, 48, 52-54, 56, 986, 1026-1028	末廣
10	持参薬確認と処方提案	病院薬剤師に特徴的な業務。持参薬確認の必要性と実際。処方提案時の留意点。	持参薬確認と処方提案に関する予習課題を提示する・配布資料 確認	897, 900, 946, 987, 991, 1009	神田
11	感染制御と抗菌薬適正使用	病院薬剤師に特徴的な業務の説明。感染制御と抗菌薬適正用に関する薬剤師のかかわり。	感染制御について調べておく・教科書・配布資料の確認	52, 53, 897, 898, 1026	室
12	製剤室の業務：無菌調製、抗がん剤調製他	病院薬剤師に特徴的な業務。製剤室の業務内容、無菌調製、抗がん剤調製他。	製剤室の業務に関する予習課題を提示する・教科書・配布資料の確認	897, 898, 906	神田
13	薬品情報室の情報管理と医薬品の採用	病院薬剤師に特徴的な業務の説明。薬品情報室の業務内容。薬品情報の管理。採用・選択に当たっての検討項目。	薬品情報の管理の必要性、医薬品採用基準について調べておく・教科書・配布資料の確認	764, 897, 898	室
14	その他の払い出し業務とリスクマネジメント	薬剤師が係わりあう病院内の伝票の役割とその流れ。薬剤師が係わりあう医療事故防止。	医療事故を防止するための方法について考えておく・教科書・配布資料の確認	972, 974, 981	室
15	災害医療と薬剤師	災害医療における薬剤師の役割。	災害医療における薬剤師の役割について考えておく・配布資料の確認	1058-1060	室
16	定期試験				
	★注意事項	上記の第1回～第15回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。 ※到達目標番号と到達目標の対応は、大学HP掲載のコアカリSBO番号/項目対応表を参照してください。			